

元報かつえ



1968 くすみ

海

海が光をあびてぎん色に光っていた
 大きな海が小さな心に
 すつぽりはいつている
 夕やけが海に赤くうつっている
 海はおなじことを
 何度もくりかえしている
 影一つない
 海の上にとびうおがはねまわっている
 カメモも海上を
 何度もとびまわってる
 光がすこしづつ消えていく
 海もさびしそうな顔をして
 波しぶきをたてている
 消えかかりそうな光が
 ちよつとの間海をみつめていた
 みたことのない海と
 心の中であそんだぼく

川辺小学校五年

高原好則

成人を迎え私しはこう思う

素直に努力をつづけよう

今年もこの村で五十
五人の若人が成人の日
を迎える。青少年の都
市流出のなかで、この
村にのこり、成人を迎
えた彼等が、自分の生
活にどのような希望、
意見をもっているか、
四人の青年にそれを綴
ってもらった。彼等は
は若い、がその文章に
は、明日に向けて素直
な努力をつづけよう、
という決意が流れてい
る。

親と一緒に働こう

武原 勇一郎



仕事、仕事はつらく苦し
いことである。私の場合、
学生の時、自分はどうせ長

男だから、卒業したら家に
帰り、農業に従事すればよ
いと思っていた。いざ農業
に励んでみると、私の思っ
ていたような、なまやさし
なものではない。実際につか
れ、忍耐のいることである
仕事、親との意見のくい
ちがいなどで、親との対立

がおこる。よって仕事がお
もしろくなくなる。このよ
うなことが続いているうち
にだんだんと農業にいやき
がさし、自然に都会にあこ
がれるようになった。

私の納得のいくまで話して
くれた。
私は、一人で考えてみた
はたして自分が都会で生活
していけるだろうか。
今考えてみると、都会にあ
こがれることが、私の一時
的な我ままのように思われ
る。
なるべくなら親の近くで
働くことが、親への一番の
孝行ではなかるうか。
私は農業を親と一緒に
一生懸命やってみよう。

社会につくしたい

長谷部 里江



り、社会や周囲にいかに甘
えていたかを考えると、恥
かしい思いがする。

、具体的にどうしたらよい
かと考えると、全然わから
ない。私たち成人式後は、
社会上いろいろな楽しい事
、うれしい事もあるだろう
。逆に悲しいつらい事もあ
るだろう。

思う。
今後、選挙があれば、選
挙権も出来たことなので、
人からすすめられた人でな
く、その人の意見政策を聞
いて、一番立派な人に投票
しようと思う。言いふるさ
れた言葉だが「清き一票」
、一票一票が集って日本の
国を明るく正しくするのだ
からと考えている。

少期より現在の生活まで何
かの関係があり、周囲の暖
かい環境に恵まれて大きく
なったことが思い出される
。大都会のはなやかさはな
いが、そのかわり落ちつい
た環境の生活がある。この
自然の美しさを愛して生活
したいと思っている。

私も成人式を迎える年にな
った。これからは、一人
前の大人として行動し、そ
の社会的な責任を負う覚悟
が必要といわれている。

新聞、テレビ、雑誌など
には、沖縄、ベトナム問題
人間づくり、小さな親切運
動、学生時代には、「時は
金なり」「理想は天に、足
は地に」「社会のためにな
る人になれ」など見聞し、
どれを見ても本当の様だし

世間では、若い者は義務
や責任の観念がない、行動
が利他的で、自己中心的で
あるという。批判はいろん
な事件のたびに、目、耳に
する。その全部が納得でき
るわけではないが、年長者
の意見には、すなをに耳を
かたむけ、自己の長所はの
ばし、短所は改ためようと

私は、山紫水明の中津江
に生まれて、本当によかつ
たと思う。一時は他に行っ
てみたが、やはり津江が一
番良い、日々の生活、両親

私の職業も、人を助け、
一日も早く病気をよくする
ことである。毎日毎日を安
易にすごした今までの生活
をやめ、出来るかぎり社会
のためになる人になろう。
充実した生活を送ろうと思
っている。

はだしで生きたい

松野明美



二十才を迎えるにあたって、第一に健康でありたい平凡なことであるが、非常に大切な、かつ難かしいことだと身をもって修得した

年と過して来たことになると言う人間を確立することではない。いつも思案にくりかたきばかりいない、私しそのもので生きていきたいのだ。第三に、真の人間というところに、私しは今の仕事に生きがいも、楽しみも誇さえも感じていない。しかし思うのだ、「現在あなたがやられた仕事もろくろく出まらずに、これ以上何が出来るというのだろうか」と、だから、私しはそれが単調な日々、単調な仕事であっても、いいかげんな仕事は送りたい。「はだしの青春」、そうだ。はだしで生きることを考えよう。

誠意ある有権者に

平山朝文

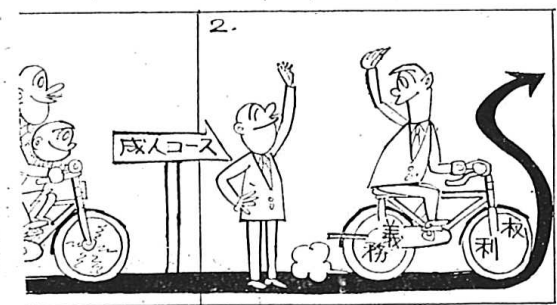


ヨージ、今年こそは、と意気どむたびに、ひとつずつ馬鹿を重ねて今年で二〇年、いよいよ成人としての第一歩を踏み出すことになった。

今までは、言わば子供ということで許され、親に頼られたことも多々あったが、今後はそうはいかない。直接一人前の人間として世の荒波にのり出し、幾多の困難悲衷もなめねばなるまい。

と喜びとで、胸のときめきを覚える。そうしたなかでも成人として認められ、選挙権が与えられたことについては、大きなよろこびと責任を感じる。今日の腐敗政治がもたらす黒い霧の問題、めまぐるしい動きを示す経済界、物価値上がりによる国民生活の不安、こうしたなかで、我々の同胞沖繩、小笠原の人々が待ち望む返還問題等々、現代の複雑な社会構造が巻きおこす幾多の問題には、多少なりとも矛盾を感じ

じさせられる。こうした矛盾、腐敗した社会政治を是正していくためには、とくに若い我々が社会に対して認識を深め、選挙については、その本来の意味について考え、的確な判断力を養って、明るく住みよい社会建設のため、誠意ある有権者として一票を投ずることにあると思う。私生活の面で、独立自活の気概を養いたい。これについては、依頼心の強い私が実行しようと誓っている。ひとつの念願である。



きょうから成人
ここから一人ていくんだよ

県道改良と林道開設を

昭和43年の事業計画

し尿処理施設と

農業構造改善も

昭和四十三年度において本村は各種の事業を予定しています。林道の開設、県道改良を中心として、保健衛生施設の充実、観光開発をはかる計画であります。また農業構造改善事業の第一年度として、この事業実施にもはります。

林道の開設では、平線、長谷線、黒谷支線を予定し県と交渉していますが、県も補助対象の認定をきびしくしているため、予定の三本ができるよう努力をしています。

県道改良は、四十二年に引きつづいておこないますが、一応の予定は間地橋の架替、吉原部落と、下切部落から鯛生にかけておこないたい、と思っています。

舗装も改良がすんだところから、四十二年と同じくらいの長さを舗装することになっています。

衛生関係では、日田郡五町村による、共同し尿処理所を、総工費五、二七五万円で大山村に建設し、四十年には施設が完成するこ

とになっています。また農業構造改善事業は四十三年から三年間で「うめ園二〇町」「わさび沢二町」「集荷所一〇〇坪」の事業をおこないます。

写真は林道予定の提付近

また農業構造改善事業は四十三年から三年間で「うめ園二〇町」「わさび沢二町」「集荷所一〇〇坪」の事業をおこないます。

写真は林道予定の提付近

また農業構造改善事業は四十三年から三年間で「うめ園二〇町」「わさび沢二町」「集荷所一〇〇坪」の事業をおこないます。

写真は林道予定の提付近

また農業構造改善事業は四十三年から三年間で「うめ園二〇町」「わさび沢二町」「集荷所一〇〇坪」の事業をおこないます。

写真は林道予定の提付近

また農業構造改善事業は四十三年から三年間で「うめ園二〇町」「わさび沢二町」「集荷所一〇〇坪」の事業をおこないます。

写真は林道予定の提付近

国道昇格を運動

県道 八女—小国線

村内を従貫する県道八女—小国線は、村でただ一つの幹線道路として重要な役割をはたしています。

村ではこれを国道に昇格してもらおうと、各方面に強力に動きかけをしています。この県道は竹田—大川

線として、大分県竹田から小国町、中津江村、矢部村、八女市をへて大川市につながる線として、大分県、熊本町、福岡県と一緒にな

つて、県議会の議決も得て、政府に国道昇格を運動しています。しかし国の方針

が、現在の国道を充実し、新しい国道昇格の認定をきびしくしよう。ということとありますので、今後一層国道昇格への努力をづけなくてはなりません。

国道昇格を容易にするためには、現在の県道を少しでも改良、舗装し、国道として認定しやすいようにしておかなくてはなりません。県道改良にあたっては皆さんの御協力をお願いいたします。

今年も十五日の「成人の日」に祝われながら、若人たちが社会人の仲間いりをして来ます。

教育委員会では例年のとおり、一月十五日午前十時から川辺小学校で成人式をいたします。役場の住民登録から調べた新成人は次のとおりです。この名簿にも

れていて、中津江村で成人式をしたい方は、教育委員会に知らせて下さい。(成人者は昭和二十二年四月一日から昭和二十三年四月一



成人者は 五十五名

- 日までに生まれた方です)
- 杉野喜一郎、小松重行、山之内幹夫、川津繁子、森下英明、中原明美、杉野順二、武原勇一郎、小川克己、武原佐代、中元幹太、杉野さきよ、杉野新一、岩下ひとみ、津江良治、長谷川辰美、島村光代、矢野陽子、高野やす子、石鞆明子、松尾秀見、川村政明、松野明美、長谷部サトエ、谷部てるみ、中元昭美、平山朝文、河津ヒロ子、石川清、森本勝、森本邦子、河津朝生、高倉三郎、猪野とき子、長谷部エミ子、石永末成、永瀬俊夫、坂井正満、栗原サダ子、永瀬恵子、永瀬潤一郎、平ヤス子、梶原由美子、片桐博勝、河津愛子、梅木涼子、長谷部正博、杉野朝子、木戸鈴美、平野栄治、西しず子、嶋崎末男、川村ひろ子、中村政博、渡辺一夫、

謹賀新年

中津江村議会
中津江村役場

千六百万円が

農家のふところに

四十二年産米は、一部に干害やイノシシの害をうけた農家もありましたが、全体に豊作で、予約米もこれまで最高の二、〇七九俵が出荷され、代金一、六二〇万円が農協から支払われました。

農協が集めた予約数量は一、三八一俵でしたが、十一月にはもう一、八二九俵が出荷され、十二月に入っ

貯金は農協へ

このような大量出荷について農協は「豊作であったことと、道路の発達で、農家の庭先きまで車が行き出荷をうながした。また最近

は農家の食生活も改善され

て二五〇俵の出荷がありました。したがって、

自家消費が少なくなったためだ」と見えています。

売渡し代金を貯蓄する農家がふえ、干害やその他の被害をうけた時にそなえようとしています。農協では

このような貯蓄をすすめる農協を中心として、安定した農業経営を広げようと呼びかけています。

昨年西日本をおそった干害は、農家に大きな打撃を与えています。大分県下でも国東地方をはじめ、大きな被害が出ています。

さいわい、本村の被害はたいしたことありませんでした。農協では、他町村の被害農家をたすけるため

精米五俵を寄付

「村内の農家に「助すけあい運動」を呼びかけたところ、

さつそく連合会を通じて被害農家に送りましたが、農協は農家の方々の御協力に心からお礼を申し上げます。

飲酒運転をやめましょう

栃野駐在より

新年を迎えて、年始まわりや新年交礼会など、とかく御酒を飲む機会が多い時期です。

「いで湯あり、うまい酒あり大分県」という酒の宣伝があります。大分県は酒酔運転による交通事故が日本一です。津江地区の方は酒酔運転、その他交通事故などおこしていない、

と言はれるか、と思いませんか。おたがい、県民一人一人が周囲に気をつけて、飲酒事故日本一の汚名を返上いたしましょう。

御酒を飲んで運転していると、始めは酔っていないくても、運転しているうちに酔がまわり、大きな事故を起し、命まで失うこととなります。

道路交通法では、酔っていないくても、運転者のからだの中に一定量以上のアルコールが残っていれば、運転が禁止されます。また酒気をおびて事故を起すと普通の場合の二倍も重い処罰を受けることになっています。

自分は何論、他人に大きな迷惑をかける酒酔運転をなくすようにしましょう。

運転に

酒は飲むまい 飲ませまい

火災予防

……空気が乾燥しています

おそろしい火災シーズンです。絶対に火災をおこさぬよう気をつけましょう。

火災は火の不始末による人災です。四十二年は津江で人家が二軒やけました

冬の健康メモ

夕食と血圧

ご主人は職場で、奥様は家庭で一日中働いたあげく、疲労をためるので、夕



方にはどうしても血圧が上がっています。そして夕食は一日中で一番の御馳走をおなか一杯い食べる結果、血圧が上り、これが夕食後の卒中を多くしています。これは動脈硬化のある人です。けれども、このような家庭では、夕食のおかずを少し朝にまわすようにし、夕食は軽いあつさりしたものに換え、大食しないようにしましょう。

御馳走の多いお正月をチャンスに、朝食と夕食を反省しましょう。

冬こそバターを

冬のあいだだけでもバター（マーガリン）をたっぷり置いていて、どんな料理にも思い切つて使しましょう。チャーハンにも、トーストにも、じやがいものふかしたのにも、さつまいもの焼いたのにも、ほうれん草をいためるにも、ココアを飲むにも、というように……このように使われるのは、バターが一番体を暖めるからです。また冬のノドの健康に必要なビタミンA、Dが同時にとれるからです。冬中子ども達を元気よく過ごさせるためにバターをどうぞ。

▼ 酒酔運転は大きな事故のもとです。

録音などで勉強

田ノ口部落学級

田ノ口部落が六月に、県から「部落 部落学級に毎月欠かさず出席しています学級」の指定をうけ、勉強を続けてい ます。勉強の目標を一、豊かな部落作り のため。二、明かるい人間関係のため 一、部落においての人間関係が一層好転、という二つにおき、県の先生や、麻 生先生の話し、また映画や録音テープ 二、生産への協同体制ができ、稲の病害 虫に対する共同防除も 話を合っています。

この部落学級の一番よ い点は、夫婦で学級に出 ているため、学級で話し あったことが家庭にすぐ 反影できることだ、と思 います。



三、保健衛生への関心が 高まり血圧測定なども 部落で二回おこなった 四、録音や映画によって いろんなことについて の心構えが出来た。 五、簡易水道の設備、便 所の改造を計画してい る。

優勝めざして

渡辺(辰)ら六選手

日田郡駅伝大会が一月二 十八日、上津江村役場(天 瀬町役場間六七、八キロ十 区間でおこなわれます。

郡駅伝は一昨年まで連続 十一回おこなわれましたが 昨年は選手不足で中止して いたものを、今年復活させ たもので、チーム編成は

ソフトボール

試合で優勝

ます。試合まで選手の練習 が見られると思いますので はげましの言葉をかけて下 さい。

渡辺辰己、 渡辺 勇 赤星仁一郎、栗原朝男 財津亀久生、武原日出夫 設省チーム、三位が上津江 村チームとなりました。建 設省からは岩井副長が出席 し、上津江戦で投手をつと

中津江村役場職員、上津 江村役場職員、建設省職員 の親善ソフトボール試合が

ばれ、賞品のシミーズ(も ちろん女もの)をもらいま した。

野犬退治で一頭を生けどり

十二月に、鯛生小学校近 くて野犬を一頭捕獲しまし た。これは、近ごろ鯛生小 学校の近くに、十数頭の野 犬が群れをなしていて、冬 になつて食べものがなくな り、学校や保育園の児童に 被害がでるようなことがあ っては、と地元の人から捕 獲の要求がありました。

役場では保健所から捕獲 用の箱をかりてきて、小学 校近くにしかけておいたと ころ、一頭がかかったもの です。近ごろはどこでも野 犬がふえ、川辺小学校も前 に講堂の幕をやぶられたり しています。飼犬も野犬と 一諸に遊んでいるのがいま す。飼犬はできるだけつな いで迷惑をかけないように しましょう。

戸籍の手数料が 五十円に

これまで戸籍抄本、戸籍 謄本の手数料が一枚四十円 でしたが、一月一日より五 十円に上がりました。戸籍 を見せてもらった場合も一 戸籍ごとに五十円の手数料 がいります。

戸籍の手数料は、政府が さめることになっていて、 五十円に上げることが政府 から通知がありました。

一月行事予定

- 四 日、役場御用始め
- 七 日、消防出ぞめ式
- 十五日、成人式
- 十八日、小、中学校始業 式
- 二十一日、家庭の日
- 二十六日 農協貯金日
- 二十八日 日田郡駅伝大会

中津江村の人口

合計 四、二八四人
男 二、一〇三人
女 二、一八一人

謹賀新年

中津江村 農協
中津江村森林組合